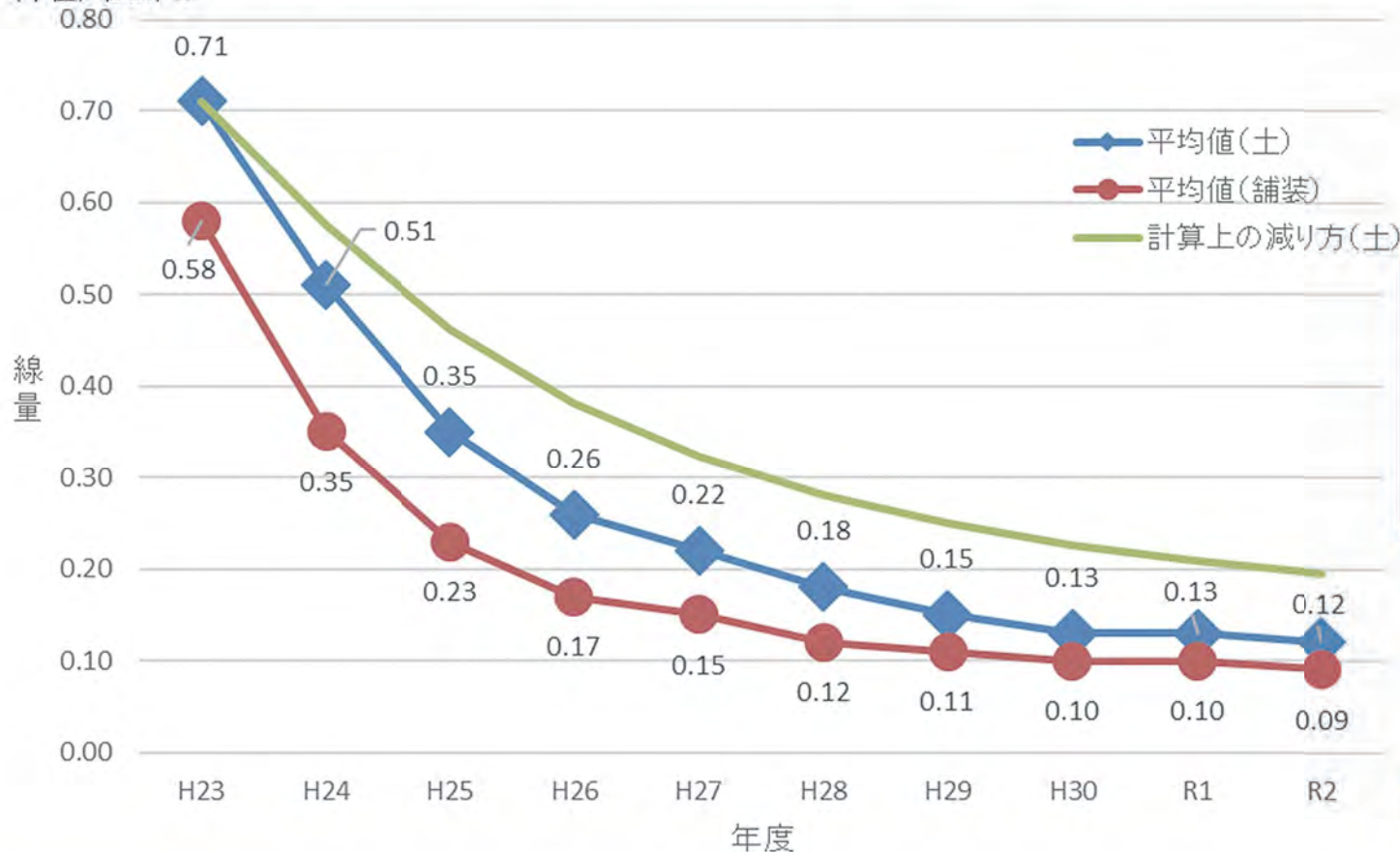


市内の空間放射線量の推移

(単位) $\mu\text{Sv/h}$ (地表からの高さ) 1m

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
平均値(土)	0.71	0.51	0.35	0.26	0.22	0.18	0.15	0.13	0.13	0.12
平均値(舗装)	0.58	0.35	0.23	0.17	0.15	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09

(単位) $\mu\text{Sv/h}$



Qちゃん
市内在住の小学生



早野 龍五 先生
東京大学名誉教授
放射線のプロ

相馬市では原発事故以来、毎年市内の空間線量の調査を行っているよね？ 今年の結果はどうだったのかな？



令和2年の調査の結果はグラフのとおりだよ。昨年度と比較するとほぼ横ばいだね。また、平成22年度に福島県が調査した県内の空間放射線量は $0.02\sim 0.14\mu\text{Sv/h}$ だから、原発事故以前と同程度になっていることがわかるよ。



今後の市内の放射線量はどうなるの？



原発事故から10年が経過して、事故由来の放射性物質の影響も少なくなってきたから、長い期間で放射線量が減っていくと考えられるよ。

放射性セシウムの計算上の減り方(土)は緑のグラフだから、実際の空間線量はこれよりも早いペースで減っているね。これは雨によって流されたりするといった自然環境の影響等(ウェザリング)が大きいとされているよ。

